

②着床障害（子宮内膜ポリープ）

不妊症症例に子宮内膜ポリープがある時に着床障害になり得るケースがあります。

子宮内膜ポリープとは

子宮内腔の子宮内膜から突出しているポリープの事を言います。胃や腸にできるポリープと同じイメージです。そのほとんどが良性です。ポリープが出来る場所、大きさ、数によっては不妊症の原因になる可能性があります。1個の事が多く、サイズは1cm未満の事が多いです。子宮底部に多く発生します。

不妊の原因になるか？

論文によると不妊の原因になるという報告と、不妊の原因にならないという両方の報告があります。

ただどちらかという不妊の原因になるという報告のほうが多く見受けられます。

ポリープがあると妊娠しにくくなる理由として以下のものが挙げられます。

- ①ポリープからの不正出血
- ②ポリープによる着床障害
- ③ポリープが精子の輸送障害をしている
- ④ポリープによる炎症

検査

超音波検査で疑わしき例があれば、子宮鏡検査で確定診断をつけます。子宮鏡だと簡単に大きさ、位置、数を確認できます。

治療

ポリープを摘出することでその後の妊娠率が向上すると断言する事はできません。これに関してはまだ詳細が分かっていません。しかし大きさや位置等が着床障害となっている可能性が高いと思われる場合は子宮鏡下に摘出術をする事を推奨します。オペは全身麻酔下に行いますが時間は10分程度の簡単なものになります。

ちなみにポリープの茎の部分が細い場合は生理やピル等で剥がれる事もありますので様子を見る事も出来ます。